

イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム

—長期インターンシップ派遣—

平成 26 年度(第 1 期)募集要項

平成 26 年 11 月

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業

次世代研究者育成プログラム

未来を拓く地方協奏プラットフォーム

1. プログラムの概要と長期インターンシップ派遣の主旨

イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラムでは、理工農系、医療系、人文社会系の枠組みにとらわれず、若手研究者が異なる領域にも果敢に挑戦し、社会を変革する意識と情熱を持った人材を育てることを目指します。その一環として、若手研究者が実際の企業や社会の課題解決に貢献しつつ、実践的な能力の養成とキャリアオプションの拡大を図ることを目的として、長期インターンシップ派遣制度を設けています。

*イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラムについては、「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」概要（別紙1）を参照ください。

2. 長期インターンシップの募集対象

- ・広島大学、山口大学、徳島大学に在籍中の博士課程（博士課程前期を除く。）の学生或いは博士課程（博士課程前期を除く。）修了後5年程度以内の任期付研究者
- ・国内外の企業・研究機関等において、2か月以上のインターンシップに従事することが可能な者

3. 長期インターンシップの募集人数

4名程度（うち1名程度を女性優先枠とする）

※応募者多数の場合は、平成27年度の選考対象者として考慮することがあります。

4. 長期インターンシップの派遣先

本インターンシップ制度は、若手研究者の社会の多様な場での活躍促進を主眼としています。そのため、国内外の民間企業、公的機関、非営利団体、国際機関、初等・中等教育機関のように従来のアカデミックキャリアとは異なる場、或いは異分野・異業種でのインターンシップを奨励します。派遣先については、以下の2通りの選択肢を用意しています。特に、下記①の応募者については、優先的に選考します。

- ① 受入先に具体的な企業等がある場合
- ② 上記以外（個別面談を通じて派遣先のマッチングを図ります）

*参考：連携企業一覧（別紙2）

5. 応募方法

(1) 申請書提出前に事前面談を行いますので、下記（8. 提出先・問い合わせ先）の連絡先にご連絡下さい。事前面談の際には、応募申請書（次項（2）①）をご持参下さい。

(2) 提出書類

- | | |
|------------|----|
| ① 応募申請書 | 1部 |
| ② 指導教員の推薦書 | 1部 |
| ③ 在籍証明書 | 1部 |
| ④ 返信用封筒 | |

(3) 募集期間

平成26年11月4日(火) ～ 12月19日(金)

※随時選考を行います。定員になり次第締め切ります。早目の応募をお勧めします。

6. 選考方法

(1) 書類審査（必要に応じて口述選考）

(2) 選考結果発表

随時、選考結果を応募者全員に通知します。

7. 待遇

(1) 支援額（月額最大15万円）

(2) 国内外派遣先への交通費等

(3) インターンシップに関わる消耗品等

8. 提出先・問い合わせ先

広島大学グローバルキャリアデザインセンター 若手研究人材養成担当

(教育学部 K 棟 402号室)

Tel : 082-424-6213

E-mail:wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」
イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム
第1期インターンシップ(平成26年度下半期)(DC用)

応募申請書

履歴等

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--------------------------------------|---------------------------|-----------------|----|--|
| フリガナ 氏名 | | 生年 月日 | 昭和・平成 年 月 日生 (男・女) | 博士課程 後期 年 | 国籍 | |
| 現住所 | 〒 電話番号:() - E-mail: 学内連絡先電話番号: | | | | | |
| 学歴 | 平成 年 月 _____ 大学 _____ 学部 _____ 学科卒業 平成 年 月 _____ 大学大学院 | | | | | |
| 言語 | 母国語 | | 日常会話が可能な言語 | | | |
| 語学に関する資格 (英検、TOEIC等) | 年 月 | | 留学生の場合、(政府派遣、 国費、私費)の別 | | | |
| 現在受給 している 助成等の 有無等 | 有・無 | 具体的な助成等名(RA、TA、日本学術振興会特別研究員等)とその業務内容 | | | | |
| 企業等との共同研究の 経験・実績 | 相手先企業等と応募者が果たした役割(共同研究の経験がない場合は「なし」と記入すること) | | | | | |
| インターンシップの経験 | 受入先、期間、業務内容(インターンシップの経験がない場合は「なし」と記入すること) | | | | | |

※学歴は大学卒業以降を全て記載すること。

1 インターンシップ派遣に対する抱負

長期インターンシップの主旨を踏まえつつ、下記の4項目を中心に1,000字程度以内で記述すること。

- ① 志望動機、理由(インターンシップ経験が将来のキャリアアップにどのように生かされるか など)
- ② 希望する派遣プログラム先(インターンシップ先)または分野(決まっている場合)とその理由
- ③ 派遣プログラム(インターンシップ)で身につけたい技術や知識について
- ④ インターンシップ後のキャリアパスについて

2 これまでの研究概要

これまでの研究内容を中心に、その背景、特色及び独創的な点(アピール・ポイント)、進捗状況について、500字程度以内で分かり易く簡潔に記述すること(図表を含めてもよい)。

3 研究業績(参考)

下記の項目について、応募者の研究業績を記載すること。その際、通し番号を付し、該当がない項目に関しては「なし」と記載すること。研究業績の応募者氏名は、太字でかつアンダーラインを付すこと。

- (1) 学術雑誌等(紀要及び論文集等も含む。)に発表した論文及び著書(査読の有無を区分して記載すること。査読の有る場合、印刷済み及び掲載決定済みのものみ記載すること。)
 - ① 著者(応募者を含む全員の氏名を論文と同一の順番で記載すること)、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入すること。(2)の学術雑誌等又は商業誌における総説や解説に関しても同様。
 - ② 頁番号等が発行されていない採録決定済のものに関しては、それを証明できるものを別添すること。
- (2) 学術雑誌等又は商業誌における総説や解説(既に掲載されているもののみを掲載すること。)
- (3) 国際学会における発表(既に発表が終了しているものについて、口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること。)、著者(応募者を含む全員の氏名を論文等と同一の順番で記載すること。)、題名、発表した学会名、場所、発表年月を記載すること。発表者に○印を付すこと。
- (4) 国内学会・シンポジウム等における発表(上記(3)の国際学会における発表と同様に記載すること。)
- (5) 特許等(公開若しくは取得について明記すること。)
- (6) その他(受賞歴等)

平成 年 月 日

第1期インターンシップ(平成26年度下半期)応募者に関する推薦書(DC用)

「イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム」の趣旨を理解し、

(応募者の氏名)

を、本取組の長期インターンシップ派遣の候補者として推薦します。

所属機関・専攻

職名・氏名

㊞

連絡先(電話・E-mail)

① 応募者との関係

② 応募者の取組姿勢、研究の進捗状況、専門的知識・技量、その他能力(着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップなど)について記入してください。

③ 応募者が長期インターンシップを経験することの意義について記入してください。

※作成上の注意

推薦書は1ページ以内で作成し、厳封のうえ提出してください。

**「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」
イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム
第1期インターンシップ(平成26年度下半期)(PD用)
応募申請書**

履歴等

| | | | | | |
|-------------------------|---|----------|-------------------------|----|--|
| フリガナ 氏名 | | 生年 月日 | 昭和 年 月 日生 (男・女) | 国籍 | |
| 現住所 | 〒 電話番号:() - E-mail: 上記以外に日中連絡が可能である電話番号: | | | | |
| 学歴 | 平成 年 月 _____ 大学 _____ 学部 _____ 学科卒業 平成 年 月 _____ 大学大学院_ 平成 年 月 博士学位取得(見込み) (学位名称 _____) | | | | |
| 言語 | 母国語 | | 日常会話が可能な言語 | | |
| 語学に関する資格 (英検、TOEIC等) | 年 月 | | 現在留学生の場合、(政府派遣、国費、私費)の別 | | |
| 職歴 | これまでの職歴全てについて雇用期間、雇用元、従事した職務内容を記して下さい | | | | |
| 現職 | 現在の雇用関係について記して下さい | | | | |
| 企業等との共同研究の経験・実績 | 相手先企業等と応募者が果たした役割(共同研究の経験がない場合は「なし」と記入すること) | | | | |
| インターンシップの経験 | 受入先、期間、業務内容(インターンシップの経験がない場合は「なし」と記入すること) | | | | |

※学歴は大学卒業以降を全て記載すること。

1 インターンシップ派遣に対する抱負

長期インターンシップの主旨を踏まえつつ、下記の4項目を中心に1,000字程度以内で記述すること。

- ① 志望動機、理由(インターンシップ経験が将来のキャリアアップにどのように活かされるか など)
- ② 希望する派遣プログラム先(インターンシップ先)または分野(決まっている場合)とその理由
- ③ 派遣プログラム(インターンシップ)で身につけたい技術や知識について
- ④ インターンシップ後のキャリアパスについて

2 これまでの研究概要

これまでの研究内容を中心に、その背景、特色及び独創的な点(アピール・ポイント)、進捗状況について、500字程度以内で分かり易く簡潔に記述すること(図表を含めてもよい)。

3 研究業績(参考)

下記の項目について、応募者の研究業績を記載すること。その際、通し番号を付し、該当がない項目に関しては「なし」と記載すること。研究業績の応募者氏名は、太字でかつアンダーラインを付すこと。

- (1) 学術雑誌等(紀要及び論文集等も含む。)に発表した論文及び著書(査読の有無を区分して記載すること。査読の有る場合、印刷済み及び掲載決定済みのもののみ記載すること。)
 - ① 著者(応募者を含む全員の氏名を論文と同一の順番で記載すること)、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入すること。(2)の学術雑誌等又は商業誌における総説や解説に関しても同様。
 - ② 頁番号等が発行されていない採録決定済のものに関しては、それを証明できるものを別添すること。
- (2) 学術雑誌等又は商業誌における総説や解説(既に掲載されているもののみを掲載すること。)
- (3) 国際学会における発表(既に発表が終了しているものについて、口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること。)、著者(応募者を含む全員の氏名を論文等と同一の順番で記載すること。)、題名、発表した学会名、場所、発表年月を記載すること。発表者に○印を付すこと。
- (4) 国内学会・シンポジウム等における発表(上記(3)の国際学会における発表と同様に記載すること。)
- (5) 特許等(公開若しくは取得について明記すること。)
- (6) その他(受賞歴等)

第1期インターンシップ(平成26年度下半期)応募者に関する推薦書(PD用)

「イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム」の趣旨を理解し、

(応募者の氏名)

を、本取組の長期インターンシップ派遣の候補者として推薦します。

所属機関・専攻

職名・氏名 _____ ㊞

連絡先(電話・E-mail)

- ① 応募者との関係

- ② 応募者の取組姿勢、研究の進捗状況、専門的知識・技量、その他能力(着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップなど)について記入してください。

- ③ 応募者が長期インターンシップを経験することの意義について記入してください。

※作成上の注意

推薦書は1ページ以内で作成し、厳封のうえ提出してください。